

全国高等学校長協会の研究協議会で発表しました

5月23日（水）～24日（木）、大宮ソニックシティホール（埼玉県さいたま市大宮区桜木町1丁目7）で開催された「全国高等学校長協会 総会・研究協議会」に出席しました。2日間の日程は、以下の通りです。私も発表しました(^_^)！。

- 第1日 ①総会 ②祝辞（文部科学省大臣，全国都道府県教育長協議会理事）
③講話（文部科学省初等中等局長） ④研究協議（中島博司の発表・徳島県の発表）
⑤行政説明（文部科学省初等中等教育局より2名）
⑥講演 演題「スポーツが変える。未来を創る。～Tokyo2020とその先に向けて～」
講師 スポーツ庁長官 鈴木 大地 氏
- 第2日 ①研究協議（北海道の発表・富山県の発表）
②行政説明（文部科学省初等中等教育局2名・高等教育局1名の説明）

全国には約5200名の高等学校の校長先生がいます。この大会では、その内の約半数にあたる約2500名の校長先生が一堂に会しました。会場は、満席でした。

私は、1日目の研究協議会の最初に、関東ブロックの代表として発表しました。タイトルは「アクティブ・ラーニング2018 ～AL指数・R80・TO学習の考案～」でした。30分間の発表でしたが、ピンマイクをつけ、指輪型パワポコントローラーを使い、広いステージ上を歩きながらプレゼンしました。両手を使って表現するために、ハンドマイクではなくピンマイクを使用しました。私にとって、「一世代のプレゼン」となりました。

私は、「アクティブ・ラーニング」を研究して約3年になります。今回の発表は、この3年間の研究成果の一つの集大成となりました。「AL指数」「R80」「TO学習」だけでなく、「AAL」「日本語の4技能」の話もしました。

全国の約2500名の校長先生に「アクティブ・ラーニング」の話ができた意義は大きいと思います。全国の学校の授業改善に少しでもお役に立てば「幸せ」です(*^_^*)！



◆ステージ上から見た昼休み中の会場風景です。